

こころ21だより

会報 第29号

2015年(平成27年)12月25日発行

事務局

〒730-0856

広島市中区河原町7-2 徒然社内

TEL 082-292-4507(金子)

FAX 082-292-4508

E-mail: kokoro21@tsure20.co.jp

NPO法人 心豊かな家庭環境をつくる広島21

発行責任者/理事長 岸房康行

随想

思いつくままにー

「広島湾岸トレイル」考



安東 善博

Trail=人や動物が踏みつけてできた道。これにLongがついた「ロングトレイル」は、何日もかけて歩く長い山歩きの道。エコと健康時代のトレンドだ。11月29日

に、中国地方では初めて、呉市天応の烏帽子岩山から広島湾をみながら坂・海田・熊野・府中を通して安芸区・安佐北区白木・可部と上り、北広島町に至って広島湾を西からみるコースを安佐南区・西区と歩き、佐伯区鈴ヶ峯に着く2市5町129.5kmの「広島湾岸トレイル」が仮オープンした。

干支の6巡目を終えた今年、外でのさまざまなお付き合いを少しは整理する“終活”準備に入ろうと決めたが、それも進まぬまま、日夜出歩いていて出会ったのが、この「トレイル運動」。会のお手伝いをするハメになった。

5年前の春、8月の胃の手術が決まったこともあって、7月の富士山登山を決意。事前準備で、宮島の弥山や安佐北区の白木山に何度か登った。富士登山が無事終わると、買った装備ももったいない、と思ったりして、大山・三瓶山・恐羅漢山・冠山…名だたる中国山地の山はだいたい制覇した。この1年、登山の空白が出来た時に現れたのが、「湾岸トレイル」。日本山岳会広島支部の有志が2013年7月から動いていた。

NPO法人日本ロングトレイル協会によると、国内の登録コースは、長野・新潟両県の9市町村をまたぐ80kmの信越トレイルが第1号。北海道十勝平野のとかちロングトレイル

200kmなど11。先達の米国では東部のアパラチアン山脈沿いの14州を歩くアパラチアン・トレイル3500kmが有名だ。

「何も外国かぶれしなくても。日本には古来、熊野古道・四国八十八か所お遍路・お伊勢参りがアラナー」という声が聞こえる。そのとおりだが、カタカナは何となくハイカラ。もちろん、修験僧による六郷満山(大分・国東半島一带にある寺院の総称)の峯入り行の道をベースにした150kmの国東半島峯道ロングトレイルや新潟県糸魚川から長野県松本に歩く古来の生活道・塩の道トレイル120kmもある。中国地方では、鳥取県の山陰線東浜駅から海岸線を鳥取砂丘まで歩いて鳥取城跡に至る「山陰海岸ジオパークトレイル」38kmも準備されている。

わが広島湾岸トレイルは、最高峰の白木山(889.9m)など30山45峰10峠と9川越え。何よりの特長は、このコースの至るところから広島湾と太田川が見えること。実は研究会は、江田島の古鷹山・宮島の弥山・似島の安芸小富士もコースに入れる“海道踏査”を実施中。来年春には、海を渡って世界遺産も歩く、4市5町名実とも備わった300kmの広島湾岸ロングトレイルコースが発足する。

私はテニスもゴルフも楽しむが、山歩きも健康にいい。手足の屈伸、足ツボの刺激。おいしい空気を吸い、四季を愛でることができる。それ以上に、私が住む西区山田団地と隣接の美鈴が丘団地にある鬼が城山282.4mと鈴ヶ峯(320.1m)がトレイル西端コースに位置する。ともに私の散歩コースだ。とはいえ、烏帽子岩山から絵下山下までの9kmは1回歩いたが、島を除く全130kmを歩くとなると、1日15kmを歩くにしても延べ7日はかかる。はたして生きている間に踏破できるかどうか…。皆さん良いお年をお迎えください。

(NPO法人こころ21会員)

国宝 松江城・小泉八雲記念館を訪ね 松江名物“鯛めし”を楽しみました

前日から雨模様の天気予報。しかし、当日家を出るころは雨はあがっている。そして、平和公園を横切る時には、なんときれいな虹がかかっている。原爆ドームと紅葉と虹、素晴らしい組み合わせ。これで、今回はいい天気の松江にいけるぞ、と集合場所へ急いだ。今回は定員いっぱいの27人の参加。みんな天気を心配していたが、広島空模様からは雨は想像もすることなくバスは一路松江へ。バスの中で、自己紹介したり森保洋之先生に作っていただいた松江の資料の解説を聞きながらルンルン気分が進む。しかし、しかし、中国山地を越えた付近からまたまた雨。その雨はわれわれの滞在中ずっと降りつづいた。

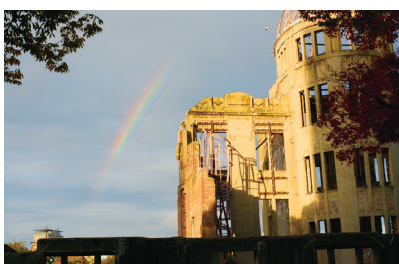
天気の話はもうよう。今回の旅は松江城が7月に国宝に指定されたことで、行ってみようということになった。

松江に行くということになり、会員へ誘いの声をかけていると、松江には素晴らしいガイドさんがいるとの紹介を受けたり、小泉八雲の曾孫の小泉凡さんに記念館での解説をいただけることになったり、内容充実のツアーとなる。

安東善博さんから紹介していただいたガイドは、元高校教師で「風土記を訪ねる会」代表の川島芙美子さん。小泉凡さんは藤本顧問の紹介で、島根県立大学短期大学部教授で小泉記念館顧問。バスの中は森保先生から松江の歴史から観光までの資料と解説。こんなすばらしい解説者をいただくツアーなんか他には絶対ありませんよ。

今回は松江に着いた時が雨ということで、当初の予定になかった出雲国風土記の丘を訪ねることになった。ここがすごかった。当日は本来休館日だったにもかかわらず、川島さんの紹介ということで館を開けていただき、なおかつ館長から展示資料の解説をいただいた。展示品は埴輪や弥生時代の刀剣、いずれも国宝とのこと。それを、数十センチ先に見ることができて感激。

昼の鯛めしもおいしかった、八雲記念館もいい勉強になった、松江城も迫力あった。時間が足りないのが一番わるい。いい1日だった、と言っていいかな！（金子敏郎）



原爆ドームと虹



松江城



文人ゆかりの宿 皆実館



八重垣神社



森保先生（左）と小泉凡さん（中央）



八雲立つ風土記の丘展示学習館 埴輪

後日談

参加した庄美千代会員はツアーの3日後に友人と同じ行程で、松江に行かれたとのこと。もちろん、皆実館で鯛めしも。ツアーの幹事としては、企画したツアーをすぐにもう一度訪ねていただけるとは、こんなうれしいことはない！

4カ所で実施

カレーづくり大会

安佐南区山本学区

2015年7月5日

西区大芝学区

2015年9月27日

東広島市・福富

2015年10月4日

中区舟入学区

2015年12月20日

カレーづくり大会と銘打って実施しているこの事業も今年は大きく飛躍しました。

舟入学区の子ども会とともに始めて、舟入は今年で9回目の開催になりました。この舟入の活動を見られた他の地域の方々も動き始め、西区の大芝学区が2回（3年前の初回は台風で中止）、安佐南区の山本学区と東広島市の福富町で今年から始まりました。歴史の実績で地域からの理解と協力の輪が広がり、また、地理的にも幅広くなり、広島市内だけでなく市外でも開催されるようになりました。

この事業を実施することで子どもたちも、いろいろなことが体験できています。のこを使うこと、おので丸太を割ること、包丁を使うこと、火を燃やすこと、米をとぐこと、6年生から1年生までの仲間と一緒に食事をつくること、お兄さん・お姉さんに相談すること、後片付けすることなどなど。それからもう一つ、小さな痛みを体験することもできています。

(金子 敏郎)



会場ステージで、事業の趣旨を語る金子事務局長。



東広島市の方にもこの事業の存在が知られるところとなり、趣旨も理解され、道の駅・湖畔の里福富の「アクアフェスタ」のイベントの一つとしてカレーづくり大会が実施されました。



舟入学区子ども会日高孝昭さんに聞きました!!



1. 始めようとしたきっかけは？

そのころ、芸予地震など自然災害がよく発生し、電気のない不便さを感じたりするうちに、子どもたちが火くらい自分で燃やせるようにしなくちゃいけないんじゃないかと、思ったりしていました。

それから、子どもたちが、家の中でゲームばかりやっていてはいかんだらう。また、子どもたちが刃物を使った事件が多く、危ないことを体験の中で教えたかった。

体験させることと外に出る場を作りたいと考えたときに、子ども会の先輩がかつて子どもたちを連れてカレーつく大会を実施していたことを知り、その先輩に相談したのが始まりでした。その先輩が金子さんだったんです。

2. すんなりと実施できましたか？

最初、役員会などで説明したときは、包丁や刃物など使って危ないじゃないか、という意見もありすんなりとはいきませんでした。しかし、体験が大切なこと、子どもたちをたくましく育てることができる状況を作らなくてはならないことを説明していくうちに、やっと実現できました。

3. 周辺の人の大会への反応はいかがですか？

いいんじゃないですかね～。

今では、資金的にも協賛社が出るくらいになり、活動が認められているのかな～、と思いますね。

4. その他、印象に残っていることは？

丸太を湯来町の方に取りに行くとき、雪が積もっていて、冷たい中でトラックに積んだこともありました。



協賛品・協賛社の紹介



遊び道具は、おの・のこ・なた



カレーづくりに不可欠な備品



消防団の放水デモンストレーション



最後にはグラウンドの原状復帰作業



水を入れずに米を火にかけた飯ごうの底

開催PRパンフレット

カレーづくり体験イベントの開催場所を広げていくために、この事業に絞ったパンフレットを作成しました。会員の皆さまの周辺で関心を持ってもらえる団体がありましたら、いや、関心を持ってもらえるように声をかけていただく道具だと思って活用ください。必要な方は遠慮なく事務局へ連絡ください。すぐに、パンフレットをお送りします。



子どものための音楽プロジェクト

広島文化学園大学、エリザベト音楽大学の協力を得て、子どものための音楽プロジェクトを7会場で開催しました。このプロジェクトはエネルギー文化・スポーツ財団助成事業です。

幼稚園、保育園の皆さんから寄せられたご意見、感想の一部、当日の会場風景などを紹介します。

こども音楽体験教室

広島文化学園大学

- ・10月13日(火) 安佐南区緑井幼稚園
- ・10月20日(火) 安佐南区上安保育園
- ・10月27日(火) 安佐北区口田保育園

緑井幼稚園

楽器を真近に見せてもらい、クラシックを中心に美しい音楽を聴くことができ、素晴らしい体験をさせていただきました。子どもになじみのある曲の演奏や、演奏者と一緒に歌うことができるとより興味が増し、さらに効果的な音楽体験教室になるかと思います。
(木村みゆき園長)

上安保育園

普段、あまり見たり聴いたりする機会の少ない打楽器の魅力を知ることができました。パチにも種類があるのを初めて知りました。子どもも熱心に見入っていて、引き込まれていました。
(保護者)

口田保育園

事前に演奏曲目を教えていただいていたので、CDに取り込んで何度か子どもたちの耳に触れさせておきましたが、その必要もなかったようです。トロンボーンという普段あまり目にする事のない楽器に間近に触れられたこともよい経験となりました。
(小野直子園長)



こども夢コンサート

エリザベト音楽大学



- ・10月26日(月) 安芸区矢野中央保育園・安芸区矢野西保育園
- ・11月9日(月) 中区千田保育園・西区ふくしま保育園

今年も無事、「こども夢コンサートシリーズ」がスタートし、すでに矢野中央保育園、矢野西保育園、千田保育園、ふくしま保育園でのミニコンサートが成功裏に終了しました。これも主催のNPO法人こころ21さん、そして各園の園長先生はじめ先生方のご協力のたまものと、心からお礼申し上げます。

思いかえせばこのシリーズは、2012年度の安東幼稚園の閉園にともない「何か園児さんの思い出になる音楽のプレゼントを!」というお話から始まりました。その後、「広島市のすべての保育園・幼稚園に本物の舞台芸術を届けよう!」という、壮大な地域文化プロジェクト(おそらく日本でも随一の!)に発展しましたが、今では、広島そして中四国エリアで唯一の音楽大学である、本学の使命と社会貢献として、大切なアウトリーチ・プログラムの一つとなっております。

2015年は、「オペラの魅力と迫力を体験」をテーマに、モーツァルトからディズニーまで、幅広い音楽による創作舞台を、本学教員のバリトン歌手、折河宏治先生を中心にお届けしています。園児さんたちからのうれしい感想文やかわいらしい記念品を胸に、来る2月の矢賀幼稚園でのフルコンサートにむけて、教員・学生・卒業生が一丸となって準備を進めています。エリザベト音楽大学の「音楽の贈り物」。どうぞご期待ください。

企画制作はエリザベト音楽大学音楽コミュニケーションデザイン専修です。

(エリザベト音楽大学准教授 壬生千恵子)



矢野中央保育園

途中から、一緒に口ずさんで歌おうとしていた♪パパゲーノ♪とうたって…
(2歳児の様子)

矢野西保育園

本格的な歌声、ピアノ演奏と、表現することの素晴らしさを感じた。
(保育士)

千田保育園

◆笛が楽しかった。◆女の人の声がきれいだった。◆おもちゃのチャチャチャの猫の声がよかった。
(4歳児の感想)

ふくしま保育園

話の展開を理解して「次はどうなるんかね」「どこから出てくるんかね」話をしながら楽しんでた。
(5歳児の様子)



こども夢コンサート

予告

東区矢賀幼稚園、あけぼの保育園交流事業

- ・と き / 2月16日(火) 10:00~11:00
- ・ところ / 矢賀幼稚園

プログラム

♪ありのまま・♪扉あけて(ディズニーより)
♪ドレミの歌(サウンドオブミュージックより)
♪パパパの二重唱(オペラ魔笛より) ほか

出演者・スタッフ / エリザベト音楽大学の教員、大学院生、学部生など16人(予定)

カレーづくり大会 9年間のおゆみ

- 舟入学区 (舟入学区子ども会育成協議会)
 - 第1回 2007年12月16日
 - 第2回 2008年12月14日
 - 第3回 2009年12月16日
 - 第4回 2010年12月19日
 - 第5回 2011年12月11日
 - 第6回 2012年12月16日
 - 第7回 2013年12月15日
 - 第8回 2014年12月14日
 - 第9回 2015年12月20日
- 大芝学区 (大芝学区子ども会育成協議会)
 - 第1回 2013年8月26日 (台風で中止)
 - 第2回 2014年8月23日
 - 第3回 2015年9月27日
- 山本学区 (山本学区子ども会)
 - 第1回 2015年7月5日
- 東広島市・福富 (アクアフェスタin福富実行委員会)
 - 第1回 2015年10月4日

子どものための音楽プロジェクト 3年間のおゆみ

- *こども夢コンサート、こども音楽体験教室を3年間で24回開催
- *対象園 27園 (交流事業を3回開催しているので延べで27園になる)

エリザベト音楽大学

| | | | | |
|------|-------|-----|-----------------|---------|
| 第1回 | 2013年 | 2月 | 市立安東幼稚園 | 安佐南区 |
| 第2回 | | 10月 | 市立基町保育園 | 中区 |
| 第3回 | | 10月 | 市立舟入保育園 | 中区 |
| 第4回 | | 10月 | 市立真亀保育園 | 安佐北区 |
| 第5回 | 2014年 | 2月 | 市立山本幼稚園・山本保育園 | 安佐南区 |
| 第6回 | | 10月 | 市立皆実保育園 | 南区 |
| 第7回 | | 10月 | 市立大河保育園 | 南区 |
| 第8回 | | 10月 | 市立坪井保育園 | 佐伯区 |
| 第9回 | | 10月 | 市立千同保育園 | 佐伯区 |
| 第10回 | 2015年 | 2月 | 市立中筋幼稚園・中筋保育園 | 安佐南区 |
| 第11回 | | 10月 | 市立矢野中央保育園 | 安芸区 |
| 第12回 | | 10月 | 市立矢野西保育園 | 安芸区 |
| 第13回 | | 11月 | (社福)千田保育園 | 中区 |
| 第14回 | | 11月 | 市立ふくしま保育園 | 西区 |
| 第15回 | 2016年 | 2月 | 市立矢賀幼稚園・あけぼの保育園 | 東区 (予定) |

広島文化学園大学

| | | | | |
|-----|-------|-----|-------------|------|
| 第1回 | 2013年 | 11月 | (社福)みのり愛児園 | 安佐南区 |
| 第2回 | | 11月 | 市立船越南部保育園 | 安芸区 |
| 第3回 | | 11月 | (社福)まごころ保育園 | 安佐南区 |
| 第4回 | 2014年 | 10月 | 市立落合保育園 | 安佐北区 |
| 第5回 | | 10月 | 市立あけぼの保育園 | 東区 |
| 第6回 | | 11月 | 市立川内幼稚園 | 安佐南区 |
| 第7回 | 2015年 | 10月 | 市立緑井幼稚園 | 安佐南区 |
| 第8回 | | 10月 | 市立上安保育園 | 安佐南区 |
| 第9回 | | 10月 | 市立口田保育園 | 安佐北区 |

- ・ 中区 / 3回
- ・ 東区 / 3回
- ・ 西区 / 1回
- ・ 南区 / 2回
- ・ 安佐南区 / 10回
- ・ 安佐北区 / 3回
- ・ 安芸区 / 3回
- ・ 佐伯区 / 2回

会員紹介

50年間続ける空手 川本 正行 さん

川本さんは私たちの会員です。

彼は会報21号「My Opinion」の欄でも意見を寄せてくれていたのですが、その時はトライアスロンを通じての活動についてでした。

今回は、11月29日に第1回広島県古武道振興会演武大会を開催したことの紹介です。彼は中学3年に空手を始め約50年続けています。今では「空手道琉球古武道修真武会 範士十段」になっています。

古武道とは武術・武道のこと、彼はこれを通じて青少年の健全育成を図るとともに、広島県内外の武術・武道の振興に貢献でき

ればとの思いで、大会委員長として開催に尽力しました。当日は広島県立総合体育館武道場に全国から約50人が集まり、演武を披露しました。(彼自身は2丁ヌンチャクを扱う演武で、片方のヌンチャクを落としてしまったようです。)

小学校の校長として勤務している時には二つの小学校に空手のクラブをつくりました。そんな実績の基に、広島に全国の武道家を集めて大会を開催したとのこと。 (金子 敏郎)



里山活動

金子 敏郎



昨年の4月から林野庁の補助事業である里山整備事業に取り組んでいます。昨年度は荒れた里山を整備すること、そして整備された場所に人を呼び込んで里山を理解させることが中心でした。

そのために私は孫や甥など若い人たちを連れてそこに集まりました。子どもたちが里山にふれること、それは未来においてきっと役に立つだろうと思ったのです。山の空気を吸うことだけでなく、里山を整備するために木を切ったり、草刈りをする体験もすることができました。

そして、今年は新たに蜂蜜を採集することにも挑戦しています。初挑戦の今年は蜂の箱を2箱設置しました。箱を置いた

からといって、すべての箱に女王蜂が住んでくれるわけではありません。しかし、なんと幸いなことに、一つの箱に女王蜂が住んでくれたのです。そして、女王蜂が入った3カ月後、見事に約5キログラム相当の蜂蜜を採取することができました。収穫した蜂蜜には妻も大喜び、ていねいに瓶詰めをし、友だちなどに配ったのでした。しかし、夏場から蜜蜂の敵「すむし」というのが巣を襲ってきているので今後どうなるか観察しているところです。



新入会員

個人会員 / 木下 吾郎 広島市東区

編集後記

◆カレーづくり大会、音プロ、会員親睦バスツアー、バスケットボールセミナーと今年度の行事の大部分を終えることができました。

会報の作成にあたっては写真がモノクロですと分かりにくい部分もあるかと考え、全部カラーにしました(法人会員の徒然社の特別奉仕です)。とくに、原爆ドームと虹の写真はモノクロでは、分かりませんから。

◆1ページ目にこれまで「My Opinion」として、会員の皆さまに原稿をお願いしていましたが、「敷居が高すぎて書きにくい」という意見もあり、今回からコーナーのタイトルを変更しました。随想(思いつくままに-)とし、気楽に思いつくままに書いていただこうとするものです。どうぞ、会員の皆さまの思いや周辺で起きた出来事などを書いていただければと思います。原稿お待ちします。(金子 敏郎)

来年は創立10周年を迎えます。引き続きご協力・ご支援をお願い申し上げます。良いお年を!!